

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第2期豊山町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

愛知県西春日井郡豊山町

3 地域再生計画の区域

愛知県西春日井郡豊山町の全域

4 地域再生計画の目標

本町の人口は、2020年国勢調査結果によると15,613人、2023年1月1日時点における住民基本台帳に基づく15,922人となっており、現在も増加を続けている。しかし、国立社会保障・人口問題研究所（以下、社人研という）の推計によると、増加を続ける本町の総人口も2030年の16,153人をピークに減少していく見込みとなっている。

年齢3区分別の人口動態をみると、2015年に16.0%（2,428人）であった年少人口（0～14歳以下人口）は、2020年に15.6%（2,437人）に増加しているものの、社人研の推計によると、2035年には14.4%（2,324人）まで減少する見込みである。一方、老年人口（65歳以上人口）は増加し続けており、2015年には22.1%（3,354人）であったが、2020年には23.0%まで増加し、社人研の2020年の見込み（22.5%）を上回っている。生産年齢人口（15歳～64歳人口）についても2015年には61.9%だったものが2020年には61.4%と割合が減少している。

本町の自然動態をみると、出生数は2015年の160人から減少を続け、2020年には125人となっている。死亡数については、過去10年間の年間平均が約115人に対し、2020年は118人と大きく変動しておらず、出生数から死亡数を差し引いた自然増減は7人（自然増）と、自然増の人数が徐々に少なくなっている。

本町の社会動態をみると、2015年には転入者（857人）が転出者（825人）を上回る社会増（32人）であった。しかし、町内大企業の規模縮小等により、町外への

転出者が増加し、2021年には社会増は10人まで減少している。

今後、少子高齢化が進み、人口減少に転じれば、生産年齢人口の減少により地域における担い手不足や地域産業の衰退等、地域の将来に与える影響が懸念される。

一方で、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、新しい生活様式の定着等、生活習慣や価値観が変化しつつある中、テレワークやデジタル化推進の機運が高まっていることも相まって、大都市圏からの本町への人口流入による転入超過が見込まれる可能性がある。

人口減少による地域の衰退という課題の対応に向け、出生率の上昇や、若年層の転入を促進することにより人口増加につなげていくため、次の事項を本計画の基本目標として掲げ、目標の達成を図る。

- ・基本目標1 未来を担う人材を育む
- ・基本目標2 生涯活躍できるまちをつくる
- ・基本目標3 安心な暮らしをつくる
- ・基本目標4 雇用を創出する
- ・基本目標5 交流・にぎわいをつくる

【数値目標】

5-2の ①に掲げる 事業	KPI	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合 戦略の基本目標
ア	この地域で子育てをしていきたいと思う親の割合	97.4%	98.0%	基本目標1
イ	豊山町に今後も住み続けたいと考える住民	67.8%	75%	基本目標2

ウ	豊山町は住みやすい と評価する住民	84.8%	90%	基本目標 3
エ	産業に関する施策に 対する住民の評価	64.4%	70%	基本目標 4
オ	まちづくり活動など への参加意向がある 住民	40.7%	67%	基本目標 5

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

第2期豊山町まち・ひと・しごと創生推進事業

- ア 未来を担う人材を育む事業
- イ 生涯活躍できるまちをつくる事業
- ウ 安心な暮らしをつくる事業
- エ 雇用を創出する事業
- オ 交流・にぎわいをつくる事業

② 事業の内容

- ア 未来を担う人材を育む事業

- ・全ての子育て家庭が安心して過ごせるよう、多様な保育サービスの提供や放課後児童対策の推進を図る。
- ・家庭だけでなく、地域、学校等社会全体で子育てを支援する環境づくりを進め、心豊かな人間性と社会性を身につけた子どもを育成する。

【具体的な事業】

- ・子育て世代包括支援センターの充実
- ・多様な保育サービスの提供
- ・放課後児童の居場所づくりの充実
- ・学校教育の充実 等

イ 生涯活躍できるまちをつくる事業

- ・自治会への加入促進や多様な住民活動の活発化、外国人住民との共生等を促進し、安心・快適な暮らしを支える地域コミュニティの充実を図る。
- ・全ての住民が生涯にわたって生き生きとした暮らしを実現できるよう、スポーツや生涯学習活動等を通じた生涯活躍のまちづくりを推進する。

【具体的な事業】

- ・コミュニティの充実
- ・スポーツによるにぎわいづくり
- ・生涯学習のまちづくり 等

ウ 安心な暮らしをつくる事業

- ・2018年に行った町民意識調査では、本町を住みやすいと思う人は84.4%となっており、今後も名古屋市に近接しつつ穏やかな暮らしを実感できるといった本町の強みを磨き上げる。
- ・公共交通網に対する満足度の低さや犯罪発生率の高さ等の課題に取り組み、克服に努める。
- ・高齢化の進展は、地域社会のあり方を含め社会経済をも大きく変えている。誰もが住み慣れた地域で、生涯にわたって健康で安心して暮らし続けられるよう、健康・生きがいつくりの推進や高齢社会への対応に取り組む。

【具体的な事業】

- ・地域防災力の向上
- ・利便性の高い交通網の形成
- ・福祉・医療サービスの充実
- ・住み心地よい住宅地形成
- ・広報・広聴の充実 等

エ 雇用を創出する事業

- ・国産ジェット旅客機の最終組立工場や名古屋市中心卸売市場北部市場の立地という本町の強みを活かし、活発なビジネスが展開されるまちづくりを目指す。
- ・中小企業の発展は、雇用の創出や経済活性化に大きく寄与するため、町内事業者の成長を促進する。
- ・労働力の減少を見据え、高齢者や女性、障がい者等の雇用拡大に努める。また、働く者が意欲と能力を十分発揮し、安心して働くことができる環境の整備を図る。

【具体的な事業】

- ・商工業等の活性化 等

オ 交流・にぎわいをつくる事業

- ・国産ジェット旅客機の最終組立工場、あいち航空ミュージアム、航空館boonや空港ターミナルの一带を“ヒコーキづくりの聖地”として航空機の産業観光拠点とする構想を進め、新たなにぎわいを創出する。

【具体的な事業】

- ・観光の振興
- ・協働の推進 等

※なお、詳細は第2期豊山町まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

2,594,518 千円（2022 年度～2024 年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度 10 月頃に外部有識者による効果検証を行い、必要に応じて事業の見直しを行う。検証後は速やかに本町ホームページで公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から 2025 年 3 月 31 日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から 2025 年 3 月 31 日まで